

【論文からひも解く】シリーズ第2弾！

IBL

抗老化(アンチエイジング)ホルモン α -Klotho(クロトー)の多彩な機能

- ◆抗酸化作用
- ◆抗炎症作用
- ◆腫瘍抑制作用
- ◆慢性線維症の予防 etc.

要事前申込

参加無料

2025年6月11日(水)

開催 : 15:00 ~ 16:30 (ハイブリッド開催)

現地会場 : 日本橋ライフサイエンスビル
1006会議室(先着20名)

オンライン : TeamsWebinar使用

演 者 : IBL 営業部 学術担当 富田 正浩

参加登録 : <https://x.gd/VzMQJ>

15:00~オープニング

15:05~論文紹介

16:00~質疑応答

16:20~受託サービスのご紹介

16:25~クロージング

参加登録



IBL News



主催：株式会社 免疫生物研究所
Immuno-Biological Laboratories Co.,Ltd.

〒375-0005 群馬県藤岡市中字東田1091-1

営業部Tel 0274-50-8666 Email : do-event@ibl-japan.co.jp

α-Klotho

1997年にα-Klotho欠損マウスが様々な老化表現型を呈することが報告されて以降、現在までにα-Klothoに関する600報以上の論文が発表されています。α-Klothoの機能については、最初に明らかとなったミネラル代謝を制御する機能に加え、近年、抗酸化作用、抗炎症作用、慢性線維症の予防、腫瘍抑制作用を含む、抗老化ホルモンとしてのα-Klothoの多彩な機能が次々と明らかになってきました。

血中α-Klotho濃度と〇〇の関連性？

米国国民健康栄養調査にて測定された血中α-Klotho濃度のデータを使用した数多くのコホート研究の論文から、α-Klotho濃度と様々な老化関連疾患や死亡率との関連性が示されています。

老化や疾患により引き起こされる血中α-Klotho濃度の減少は、さらなる疾患に罹患するリスクとなります。では、α-Klotho濃度を維持または上昇させることはできないのでしょうか？本セミナーでは、この問いに対する答えも論文からひも解いていきます。

本セミナーのテーマ：α-Klotho の可能性を探る

ギリシャ神話の女神の名を冠したα-Klotho。研究対象として大変魅力的であり、健康寿命の延伸を実現する鍵となるタンパク質とも考えられます。発表論文のデータから見えてくるα-Klotho測定の新たな可能性についてご参加の皆様と共に考える機会を持ち、関心のある企業様や研究者の方々と共同研究や新規事業に関する協業などについて意見交換ができる場にしたいと考えております。ご興味のある方は是非ご参加ください。

■ 申込方法

登録フォームまたは電子メールにてお申し込みください。

【参加登録】 <https://bit.ly/3USkKff>

【電子メール】 宛先：do-event@ibl-japan.co.jp

【必須】 ①ご氏名 ②参加会場（現地orオンライン）

【任意】 ③ご所属・部署 ④電話番号

申込後、事務局から登録完了のご連絡をいたします。

参加登録



一緒に探しませんか
その扉を開く『鍵』

「抗体」を通じて、世界で難病に苦しむ人々が、
一日も早く、病気を克服し、明るく豊かな暮らしを
営めるよう、社会に貢献いたします。

